

令和5年10月23日

情報技術工学科



基本情報技術者試験 合格！！ 情報技術工学科3年生2名！！

令和5年6月に実施された経済産業省「基本情報技術者試験」において、情報技術工学科3年の小川 倅輝さん・清水 稀琉さん（垂井町立不破中学校 出身）が見事合格を果たしました。同試験に合格したのは2年ぶりです。また、複数名の合格も久しぶりです。

基本情報技術者試験はIT エンジニアの登竜門とも言われ、経済産業省が認定する国家試験である情報処理技術者試験の区分の一つで、「高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けた者」を対象としています。受験者は主に専門学校以上の学生や社会人が多く、高校在学中での合格は大変な国家資格です。

2名は2年次にITパスポート試験・情報セキュリティマネジメント試験・情報技術検定1級という、情報に関する資格にも合格しています。



小川 倅輝さん・清水 稀琉 さん（垂井町立不破中学校 出身）

合格した二人からのアドバイス

小川 倅輝さん

情報技術検定1級・ITパスポート試験・情報セキュリティマネジメント試験の三種類の勉強で学んだ知識を土台として、基本情報技術者試験の参考書をまずは1周しました。受験日まではWebにある「過去問道場」にて、毎日試験一回分の問題を解きました。特に疑似言語には苦戦し、解説をよく読み理解しました。私にとって一番の難関は午後問題の後半でしたが、試験は解く順番も大切であると気づき、最初に取り組むようにしました。

清水 稀琉さん

基本情報は、情報技術検定やITパスポート試験、セキュリティマネジメント試験などのほかの情報系の資格で出題される問題と似ているのでまずはこれらの資格に挑戦して、基礎を固めてから基本情報に挑戦すると良いと思います。多くの資格に挑戦していく中で自分に合った資格勉強の方法を知ることできます。私は、小川君が受験するなら一緒に受験しようと思い、勉強を始めました。基本情報技術者試験の勉強は、本を読むよりもネットの過去問道場をやって覚え、そこで分からなかったことを参考書やネットで調べると良いと思いました。また試験会場へ向かう電車の中で、最後に参考書を読みきり合格することができました。

就職試験の面接などで資格について聞かれた時のために、資格取得を通して、知識以外で何を身に付けることが出来るか、出来たか意識しておくこと面接対策のとき楽になります。